

# Job

## Chapter 32

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

1  
הוא כִּי אִיּוֹב אֶת־ מַעֲנֹת הָאֱלֹהִים הָאֲנָשִׁים שְׁלֹשֶׁת וַיִּשְׁבְּתוּ 1  
彼は なぜなら ヨブに ヨブに 答えることを これらの 人々は 三人の そして-止めた  
H1931 H0347 H0853 H0428 H0376 H7969  
פּ צְדִיק  
— 自分の-目に 正しかった  
H6662

このようにヨブが自分の正しいことを主張したので、これら三人の者はヨブに答えるのをやめた。

2  
בְּאִיּוֹב הָם מִמִּשְׁפַּחַת הַבּוּזִי בְרַכְאֵל בֶּן־ אֵלִיהוּא וְאֵף וַיַּחַר 2  
ヨブに-対して ラムの 氏族の ブズ人の バラクエルの 息子 エリフの 怒りが そして-燃えた  
H0347 H7410 H4940 H0940 H1292 H0453 H0639 H2734  
מֵאֵלֹהִים: נַפְשׁוֹ צְדָקוֹ עַל־ אִפּוֹ חָרָה  
神よりも 自分の-魂を 正しいと-した なぜなら 彼の-怒りは 燃えた  
H0430 H5315 H6663 H0639 H2734

その時ラム族のブズびとバラケルの子エリフは怒りを起した。すなわちヨブが神よりも自分の正しいことを主張するので、彼はヨブに向かって怒りを起した。

3  
לֹא־ מְצָא אֲשֶׁר עַל־ אִפּוֹ חָרָה רְעִיּוֹ וּבְשִׁלְשֶׁת 3  
見つけなかった 彼らが なぜなら 彼の-怒りは 燃えた 友人たち-対しても そして-三人の  
H3808 H0639 H2734 H7453 H7969  
אִיּוֹב: אֶת־ וַיִּרְשִׁיעוּ מַעֲנֵה מְצָאוֹ  
ヨブを ヨブを それでいて-罪ありとした 答えを 見つけなかった  
H0347 H0853 H7561 H4617 H4672

またヨブの三人の友がヨブを罪ありとしながら、答える言葉がなかったので、エリフは彼らにむかっても怒りを起した。

4  
מִמִּנּוֹ הֵמָּה זְקֵנִים־ כִּי בְדִבְרֵיהֶם אִיּוֹב אֶת־ חָכְמָה וַאֲלִיהוּ 4  
彼より 彼らは 年上だった なぜなら 言葉で ヨブに ヨブに 待っていた そして-エリフは  
H1992 H2205 H1697 H0347 H0853 H2442 H0453  
לְיָמָיו:  
日々において  
H3117

エリフは彼らが皆、自分よりも年長者であったので、ヨブに物言うことをひかえて待っていたが、

5  
וַיַּחַר מִיָּמָיו הָאֲנָשִׁים שְׁלֹשֶׁת בְּפִי מַעֲנֵה אֵין כִּי אֵלִיהוּא וַיִּרָא 5  
そして-燃えた 人々の 三人の 口に 答えが ないことを もはや エリフは そして-見た  
H2734 H0376 H7969 H6310 H4617 H0369 H0453 H7200  
פּ אִפּוֹ  
— 彼の-怒りは  
H0639

ここにエリフは三人の口に答える言葉のないのを見て怒りを起した。

אָנִי זְעִיר וַיֹּאמֶר הַבּוּזִי בְּרַכְאֵל בֶּן-אֱלִיהוּא וַיַּעַן 6  
 私は 若くて そして-言った ブズ人の バラクエルの 息子 エリフは そして-答えた  
[H0589](#) [H6810](#) [H0559](#) [H0940](#) [H1292](#) [H0453](#)

וַיֹּאירָא וַחֲלִיתִי כֵן עַל-יְשֻׁשִׁים וְאַתֶּם לְיָמִים  
 そして-恐れた 私は-ためらった それゆえ それゆえ 老人である しかし-あなたがたは 日々において  
[H3372](#) [H3453](#) [H3117](#)

אַתְּכֶם דְּעִי מִחֲתִית  
 あなたがたに 私の-意見を 述べることを  
[H0853](#) [H1843](#) [H2331](#)

ブズびとバラケルの子エリフは答えて言った、「わたしは年若く、あなたがたは年老いている。それゆえ、わたしははばかって、わたしの意見を述べることをあえてしなかった。

:חֲכָמָה יְדִיעוּ וְרַב שָׁנִים וְרַבְּרוּ יָמִים אֲמַרְתִּי  
 知恵を 教えるべきだと 年月が そして-多くの 語るべきだと 年配者が 私は-思った  
[H2451](#) [H3045](#) [H8141](#) [H7230](#) [H1696](#) [H3117](#) [H0559](#)

わたしは思った、『日を重ねた者が語るべきだ、年を積んだ者が知恵を教えるべきだ』と。

:תְּבִינִם שְׂרִי וְנִשְׁמַת בְּאִנּוּשׁ הִיא רוּחַ אֶכֶן  
 惟りを-与える 全能者の そして-息吹きが 人の-内にある それは 霊が しかし-まことに  
[H0995](#) [H7706](#) [H5397](#) [H0582](#) [H1931](#) [H7307](#) [H0403](#)

しかし人のうちには霊があり、全能者の息が人に悟りを与える。

:מִשְׁפָּט יְבִינֹ וְזִקְנִים יַחְכְּמוּ רַבִּים לֵא-  
 公正を 惟るとは-限らない そして-老人が 賢いとは-限らない 多くの-者が 年老いた-者が  
[H4941](#) [H0995](#) [H2205](#) [H2449](#) [H3808](#)

老いた者、必ずしも知恵があるのではなく、年とった者、必ずしも道理をわきまえるのではない。

:אֲנִי אֶף-דְּעִי אֲחַנְהָ לִי שְׁמֹעָה-לְכֵן אֲמַרְתִּי  
 私も 私も-また 私の-意見を 述べよう 私に 聞いてください 私は-言う それゆえ  
[H0589](#) [H0637](#) [H1843](#) [H2331](#) [H8085](#) [H0559](#)

ゆえにわたしは言う、『わたしに聞け、わたしもまたわが意見を述べよう』。

עַד-תְּבִנְתִּיכֶם עַד-אֲזִין לְדַבְרֵיכֶם הוּחַלְתִּי הֵן  
 探り-尽くすまで 理解を あなたがたの 耳を-傾けた あなたがたの-言葉を 私は-待った 見よ  
[H5704](#) [H8394](#) [H5704](#) [H0238](#) [H1697](#) [H3176](#) [H2005](#)

:מִלִּין תְּחַקְרוּן  
 言葉を 探り-尽くすまで  
[H4405](#) [H2713](#)

見よ、わたしはあなたがたの言葉に期待し、その知恵ある言葉に耳を傾け、あなたがたが言うべき言葉を捜し出すのを待っていた。

עֲנָה מוֹכִיחַ לְאִיֹּב אֵין וְהִנֵּה אֲתַבּוֹן וְעַדִּיכֶם  
 答える-者が 論駁する-者が ヨブに いなかった しかし-見よ 私は-注意した そして-あなたがたに  
[H3198](#) [H0347](#) [H0369](#) [H2009](#) [H0995](#) [H5704](#)

:מִכֶּם אֲמַרְרִי  
 あなたがたの-中に 彼の-言葉に  
[H0561](#)

わたしはあなたがたに心をとめたが、あなたがたのうちにヨブを言いふせる者はひとりもなく、また彼の言葉に答える者はひとりもなかった。

יִדְבְּנוּ 打ち負かすのであり H5086  
 אֱלֹהִים 神が H0410  
 חֲכֵמָה 知恵を H2451  
 מִצְאָנוּ 見つけたと H4672  
 תִּאמְרוּ 言わない-ください H0559  
 פֶּן 言わない-ください H6435

13

אִישׁ 人が H0376  
 לֹא 人では-ないと H3808

おそらくあなたがたは言うだろう、『われわれは知恵を見いだした、彼に勝つことのできるのは神だけで、人にはできない』と。

אֲשִׁיבֶנּוּ: 私は-彼に H7725  
 לֹא 答えない H3808  
 וּבְאִמְרֵיכֶם そして-あなたがたの-言葉で H0561  
 מִלִּין 言葉を H4405  
 אֵלַי 私に H0413  
 עָקַד 向けなかった H3808  
 וְלֹא- そして-向けなかった H3808

14

彼はその言葉をわたしに向けて言わなかった。わたしはあなたがたの言葉をもって彼に答えることはしない。

מִלִּים: 言葉は H4405  
 מֵמָּה 彼らから H1992  
 הֶעֱתִיקוּ 離れた H6275  
 עֹד もはや H5750  
 עֲנֵנוּ 彼らは H3808  
 לֹא- 答えなかった H3808  
 חָתוּ 打ちのめされた H2865

15

彼らは驚いて、もはや答えることをせず、彼らには、もはや言うべき言葉がない。

לֹא- 答えなかった H3808  
 עָמְדוּ 立ち尽くした H5975  
 כִּי なぜなら H3808  
 יִדְבְּרוּ 彼らは H1696  
 לֹא 語らない H3808  
 כִּי- しかし-語らない H3808  
 וְהוֹחַלְתִּי そして-私は-待った H3176

16

עֹד: もはや H5750  
 עֲנֵנוּ 彼らは H3808

彼らは物言わず、立ちとどまって、もはや答えるところがないので、わたしはこれ以上待つ必要があろうか。

אֲנִי: 私も H0589  
 אַךְ- 私も-また H0637  
 דְעִי 私の-意見を H1843  
 אֲחַנֶּה 述べよう H2331  
 חֶלְקִי 分を H0589  
 אֲנִי 私 H0589  
 אַךְ- 私も-また H0637  
 אֲעֲנֶה 答えよう H0637

17

わたしもまたわたしの分を答え、わたしの意見を述べよう。

בְטֵנִי: 私の-内の H0990  
 רוּחַ 霊が H7307  
 הֶצִיקָנִי 迫る H6693  
 מִלִּים 言葉で H4405  
 מְלֵתִי 満ちている H4390  
 כִּי まことに H3808

18

わたしには言葉が満ち、わたしのうちの霊がわたしに迫るからだ。

חֲדָשִׁים 新しい H2319  
 כְּבָאֵבוֹת 新しい-革袋の-ように H0178  
 יִפְתָּח 開かない H3808  
 לֹא- 開かない H3808  
 כִּינּוֹ ぶどう酒の-ように H3196  
 בְטֵנִי 私 H0990  
 הִנֵּה- 見よ H2009

19

יִבְקַע: 張り裂けそうだ H1234

見よ、わたしの心は口を開かないぶどう酒のように、新しいぶどう酒の皮袋のように、今にも張りさけようとしている。

וְאֲעֲנֶה: そして-答えよう H8193  
 שִׁפְתֵי 私の-唇を H8193  
 אֶפְתָּח 開こう H3808  
 לִי 私 H3808  
 וַיִּרְוַח- そうすれば-楽になる H7304  
 אֲדַבְּרָה 語ろう H1696

20

わたしは語って、気を晴らし、くちびるを開いて答えよう。

אֲכַנְהָ:	לֹא	אֲדָם	וְאֶל-	אִישׁ	פְּנֵי-	אֲשָׂא	גַּם	אֶל-	21
私は	へつらわない	人に	そして-人に	人の	人の-顔を	ひいきはしない	決して	決して	
<a href="#">H3655</a>	<a href="#">H3808</a>	<a href="#">H0120</a>	<a href="#">H0413</a>	<a href="#">H0376</a>	<a href="#">H6440</a>	<a href="#">H5375</a>	<a href="#">H4994</a>	<a href="#">H0408</a>	

わたしはだれをもかたより見ることなく、また何人ともへつらうことをしない。

יִשְׂאֵנִי	כְּמַעַט	אֲכַנְהָ	יִדְעֵתִי	לֹא	כִּי	22
取り去るだろう-私を	そうすれば-ただちに	へつらうことを	私は	知らない	まことに	
<a href="#">H5375</a>	<a href="#">H4592</a>	<a href="#">H3655</a>	<a href="#">H3045</a>	<a href="#">H3808</a>		

עֲשֵׂנִי:  
私を-造った-方が

わたしはへつらうことを知らないからだ。もしへつらうならば、わたしの造り主は直ちにわたしを滅ぼされるであらう。